

環境配慮型製品

# エコ・ドライブ ウオッチ — デザインの可能性

～ 東京デザイナーズウィーク2010  
“くらしと環境のデザイン展”に出展～

## 環境とデザインから未来を見つめるイベントに参加

「東京デザイナーズウィーク」(以下、TDW)は、NPO法人デザインアソシエーションが主催する都市型デザインイベントで、25年という歴史を誇る日本有数のイベント。都内各所を舞台に、毎年テーマに応じたさまざまな展示やイベントを展開。2010年は10月29日からの6日間、「環境×デザイン」をテーマに開催され、世界各国から72,000人に上る方々が東京を訪れ、にぎわいをみせた。

今回、シチズンがTDWへの出展を決めた理由の一つには、「くらしと環境のデザイン展」を謳うTDWのコンセプトと「光発電エコ・ドライブ」をはじめ環境配慮型製品を展開するシチズンの企業精神が合致していたことが挙げられる。またシチズンでは「技術と美の融合」を掲げ、デザインと機能性や環境配慮も実現する製品づくりに取り組んでいる。その真摯な姿勢を一般の方々により広く知って欲しいという想いが以前からあった。また社内外を問わず、より一層ブランドイメージを高めていくことも、出展に込めた目的の一つ。シチズンの環境への取り組みやデザインへの想いをお披露目する意味も込めて、今回はじめてTDWに参加することとなった。

## 技術と美、環境とデザインの融合から未来へ

表参道にあるシチズンデザインスタジオは、TDWの中央会場である明治神宮外苑にほど近く、ショップエキシビションの一つとして選定された。10月28日には、一般公開に先駆けてプレオープニングパーティを開催。「エコ・ドライブ ウオッチ—デザインの可能性」をテーマに、社内5名のデザイナーによるプレゼンテーションが行われた。また、期間中には創立80周年記念のコラボレーションウオッチ6モデルも展示。

プレゼンテーションの開催にあたっては社内でもデザインコンペを実施し、幅広くデザインを募集。50数点におよぶ応募のなかから特に評価の高かった5作品を選定し、当日はデザイナー自らがそのデザインに込めた想いを語った。それにより、シチズンのデザインに対する姿勢を多くの方々に知ってもらうとともに、普段なかなか知ることのない柔軟かつ革新的なアイデアをデザイナーが生々の声で伝えることにより、ブランドイメージ向上にもつながると考えたのだ。たとえば、チタンを利用した表面処理技術や、ソーラー発電技術はすでに高い評価を得ていたが、そうした技術にデザインを結びつけ、社内で連携しながらより良い製品を生み出すきっかけにもなった。

## 今回の出展を終えて…

今回のTDW出展を通して、一般のお客様や異業種のデザイナーの方々など、普段なかなか接する機会の少ない方々からも貴重なお声をいただくことができました。また、シチズンのデザインにかける想いと取り組みを再認識していただく場になったことで、出展を決めた当初の狙いも達成できたと思います。シチズンは、「光発電エコ・ドライブ」など、製品を通じた環境保全に取り組んでいます。突きつめて考えると、人も自然環境にほかなりません。人の肌に触れる身近な工業製品である時計をご提供する企業として、人の心に響き、訴えかける力をもつデザインを心がけるべきであると考えます。すなわち、「技術と美の融合」を実現することでこそ、その先に「環境とデザインの融合」が実現し、シチズンのめざすべき未来の製品につながっていくと考えています。こうした取り組みは一過性のもものでは意味がありません。今後も、こうした取り組みを継続的に実施していき、さらなる展開をめざしていきたいと考えています。

シチズン時計  
マーケティング本部 デザインセンター  
クリエイティブディレクター

坂巻 靖之